

あわくら 壁かべめ街道

長尾村八右衛門の 孝行詳説

八右衛門は父母との暮らしの中で、至極懇ろに接しているので、父母も老後を心配するようなこともなく、見ること、聞くことも皆喜ばせてくれる。他人に対してこの喜びを吹聴していました。貧しいが八右衛門の孝心によって、家中睦まじい毎日を過ごしていましたが、母親が俄に半身不随の身となり、八右衛門驚き悲しみ、貧困の家庭をも顧みず、その分を超えて医療費を惜しまず、また、看護の労苦も厭わず一心に療養に尽きました。これまで朝夕の炊事、食料の雑品等は八右衛門が買い求めて、火を焚く等母が心任せに手伝ってくれましたが、寝起き、飲食、大小便への行き来の介助が必要な病身となり、父も段々と加齢のため衰え、八右衛門は稼ぎに出るのも何んならず、貧しさも増す中、父母に対しては朝夕の食物の拵え、野菜の調和、父母好みに応じて口腹に叶うように心を配り、父は自分で食事を取ることはできましたが、母の食事は彼の手で食べさせ、間食には軽い食味を準備したり、番茶を煎じて撰め、退屈しのぎに物語などして慰め、寒い夜は炭火を拵えて部屋を暖め、母の用便には抱きかかえて行き、父は小便なども高齢のため度々のことながら、夜間は付き添うて行くように心掛けたと伝えています。

農業に出て働く時も、何回となく家に立ち返り母の用便を尋ね、飲み食いの好みを聞くなど、至極懇ろに接し、また、母発病以来薬は途切れることなく服用していましたが、なかなか効果が表れないで服用を拒む向きもある時は、穏やかに諭しながら勧めるなどして、2年あまり続けられましたが、終に薬石の効も渾身の懇情の甲斐もなく、母は死出の旅へと旅立たれてしまいました。八右衛門は限りなく深い悲しみの日々を迎え、慟哭したと云われています。常日頃父母を慕い親しんできた八右衛門の実情をよく知っている村人、知人は、殊の外深く感動し、感泣したそうです。その後、父長九郎はよう瘡と云う病に罹り、頗る症状も陥症でしたが、八右衛門の心力を尽くした医療看護に、稀にも危難を免れることが出来て喜んでいました。

◎ 4月号です。3月18日(水)が締め切りです。

◎ い。名前は、電話番号を書いてください。場合、表に住所・氏名を書いてください。

はがき募集



人の動き

平成21年2月1日現在

- 人口 1,627人(-1)
- 男 758人(-3)
- 女 869人(+2)
- 世帯数 539戸(±0)
- 1月中の移動
- 出生 0人 死亡 2人
- 転入 5人 転出 4人

お悔やみ申し上げます

小松 重雄 さん (知社) 1月25日 88歳

善意の窓

(村社会福祉協議会から)

平成21年1月20日～平成21年2月19日

おめでとうございます

中土居 春名 一樹 様 長女 琉香様 誕生内祝

お大事にしてください

引谷 平田 康典 様 本人 退院内祝
篠津 建元 昌子 様 本人 退院内祝
塩谷 大上よ志子 様 本人 退院内祝
引谷 乾 忽津 様 本人 退院内祝
大茅 井上 日子 様 本人 退院内祝
坂根 草刈 昭子 様 本人 退院内祝
別府 西本 榮子 様 本人 退院内祝
大茅 宮崎 吉正 様 本人 退院内祝

ご冥福をお祈りします

知社 小松 秋夫 様 亡父 重雄 様 香典返し
中土居 井上久美恵 様 亡父
田中 幸雄 様 香典返し

今月の村税

国民健康保険税 (第10期)

納期限：3月31日(火)

◎ 納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。口座振替の場合は残高確認をお願いいたします。

お問い合わせ先：西粟倉村役場保健福祉課

たばこは村内で買いましょう

広報

平成21年3月号 発行 〒707-0503 岡山県英田郡西粟倉村役場総務企画課 TEL 0868-79-2111(代) FAX 0868-79-2125
No.550 印刷 (資)谷本弘輝堂